

YOKA GOURMET

“馬肉料理”の老舗 菅乃屋 空港店 (1F)

そらよかダイニング Tel/096-237-8016 Open/ 飲食 11:00~20:30 (LO20:00) イートインのみ
物販 8:00~20:30 馬刺し販売 (発送対応可)

ほろほろ馬スジがカレーにゴロゴロ!

熊本・阿蘇の広大な自社牧場で育てた馬肉を贅沢にいただける「菅乃屋」。ぜひ一度味わってほしいのが、やわらかい馬スジがゴロゴロと入ったオリジナル「馬スジカレー」です。ほどよい辛さやコク、うまみのバランスが絶妙なランチ限定メニューで、小学生から大人まで幅広い世代の人気を集めています。

お見送りやお迎えの方と食事をする、おもてなしの場面では「馬刺し5種盛り(霜降り、ロース、フタエゴ、ロースヒモ、コウネ)」(¥2,300)がおすすめ。馬肉料理専門店として長年親しまれてきた老舗の味をご堪能ください。



▲「馬スジカレー(サラダ付き)」(¥1,700)
馬スジのだしが深い味わいを生み出しています(ランチ限定)。



▲(左から)スタッフの井上あいりさん、松野みほさん。「お土産の馬刺しも人気です」



「菅乃屋」は熊本空港に3店の1Fの店舗は飛行機利用の有無にかかわらず、どなたでもご利用になれます!

▲カルビや霜降りなどの「馬焼き定食」(¥3,000)。サイコロステーキ付きメニュー(¥3,800)もあり。

※メニューが変更となる場合がございますので予めご了承ください。

New

海外へご出発の方へ
ゆらぎの時間を

国際線搭乗待合エリアに伊藤園のカフェがオープン!

国際線の搭乗待合エリアに、日本の茶文化や熊本の豊かな食文化を伝える“和”カフェ「saryo ITOEN(茶寮 伊藤園)」がオープンしました。外観デザインとして阿蘇五岳や熊本城の石垣が表現されており、落ち着いた空間の中で特別な喫茶メニューを味わえます。「伊藤園」ブランドの日本茶や抹茶のほか、熊本県産の緑茶を使用したドリンクメニューや、熊本の郷土菓子「いきなり団子」をアレンジした限定スイーツをどうぞ。

※国際線出国審査後のエリアにあり、海外へご出発のお客さまのみご利用いただけます



- JR熊本駅から車で約60分
- 九州自動車道 益城熊本空港インターチェンジから車で約15分
- サクラマチクマモトから空港リムジンバスで約50分

空港駐車場は週末にかけて混み合いますので、空港リムジンバスなどの公共交通機関をご利用ください。

交通アクセスに関する情報▶



熊本県内のイベントカレンダー

2025.May - 2025.Jul.

3-4日	火の国長洲金魚まつり(長洲町)
4日	代継宮 曲水の宴(熊本市)
5月	31日 第3回熊本空港マラソン
31日-6月1日	八代神社 氷室祭(八代市)
23日-6月7日	高瀬裏川花しょうぶまつり(玉名市) ※メインイベントは5/31
6月	15日 犬子ひょうたん(祇園祭)(山鹿市)
23日	本妙寺 頓写会(熊本市)
7月	28日 阿蘇神社 御田祭(阿蘇市)
下旬	あゆまつり(甲佐町)

※天候等諸事情により変更または中止になる可能性があります



阿蘇くまもと空港
公式Instagram

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

Aso Kumamoto Airport News Letter

vol.5

soyayoka

そらよか

2025.5
SPRING

English



简体中文



繁體中文



한국어



そらよかビジターセンター テナント続々オープン

YOKA GOURMET「菅乃屋」

国際線搭乗待合エリア
「saryo ITOEN(茶寮 伊藤園)」



「Sorayoka(そらよか)」は、阿蘇くまもと空港(熊本県益城町)の広報誌です。空港のイメージ「そら」と、熊本の方言で「良い」を表す「よか」を組み合わせた名称で、「それいいね!」という意味も込められています。英語版、中国語版(簡体字・繁体字)、韓国語版はQRコードからご覧いただけます。

そらよか May. 2025 [vol.5] 発行/熊本国際空港株式会社(熊本県上益城郡益城町大字小谷1802-2)

KKIAC vision/訪れる人も、働く人も、笑顔になれる、世界でいちばん居心地のいい空港になる



阿蘇くまもと空港
公式Instagram



学び・遊びの新拠点

そらよかビジターセンター テナント続々オープン



阿蘇くまもと空港の「そらよかビジターセンター」に、学びや遊びを提供するテナントが続々とオープン。空港から始まる、“新たな旅の出発拠点”としての機能がそろうています。「くまもとSDGsミライパーク」は持続可能な未来について考える教育プログラムを展開し、一人一人に具体的な行動を促します。空港から近い、阿蘇エリアなどでのアウトドアやサイクリング、ツーリングといったレジャーツールを提案する店舗も。活用して自分のキャリアへの意識を高めたり、自然を満喫したりして、熊本での旅や余暇の時間をより充実したものにしませんか。



くまもとSDGsミライパーク

くまもとSDGsミライパーク
by HigoBank

▲国内外から訪れる修学旅行や社会科見学の児童・生徒らを対象にした、SDGsについて実践的に学べる教育テーマパーク。ワークショップや企業の展示があります。[入場料 500円(小学生以上)]※ワークショップは別途受講料が必要

企業ブースの一部をご紹介します!

全部で9区画あるよ



災害や環境問題を考える 長瀬産業

土管に代わる新たな排水管の実物サイズを展示しているほか、バイオ由来のサステナブルな紙オムツを紹介しています。



水を大切に使うって? ジャスム Jasm

パネルと動く模型から、半導体の製造で使った水をきれいにする仕組みを学べます。



未来の都市型農業 ハイコム HICOM

水耕栽培と人工光源を組み合わせた最新の農業技術システムを披露。無農薬で安定的に栽培でき、節水効果もあるそうです。

TOPIC

阿蘇くまもと空港を運営する熊本国際空港でも、SDGs達成のための取り組みを進めています。環境配慮の具体的な施策としては、太陽光発電設備や電気自動車の導入、ペットボトルの水平リサイクルの実践などが挙げられます。



滑走路点検などで使用している電気自動車

バイクにさわってまたがって 「Honda マタガリ IMMERSIVE」

入場無料

4月にオープンした体験施設「Honda マタガリ IMMERSIVE」。国内で唯一、Hondaの二輪車を生産する本田技研工業熊本製作所(熊本県大津町)が監修し、大型バイク「ホーネット」や小型バイク「クロスカブ」といった二輪車や耕運機が展示されています。バイクには誰でも乗ることができて、撮影も自由。200インチのLEDディスプレイには、ツーリングの絶景スポットが映し出され、没入感のある体験を楽しむことができます。



未来のライダーだよ!

幅広い世代に大人気。次から次にバイクにまたがって遊ぶ子どもの姿も。



アウトドアトラベラーズ

アウトドアカー&ギア(道具)のレンタルショップ。ランドクルーザーやオリジナルカスタムジムニーに、テーブルやチェア、軽食作りができる「ピクニックBOX」などがセットで付いてきます(1日19,800円〜)。オプションサービスとして「料理BOX」や「焚火BOX」のレンタルもあり、道具を買いそろえなくても、本格アウトドア体験が楽しめます。



しゃりんかん

米国バイクブランド「トレック」専門店。電動アシスト付きスポーツ自転車「e-Bike」のレンタル(1日8,000円〜)もあるので、初心者から上級者までの幅広いニーズに対応しています。自分のペースで、ふらりと寄り道をしながら走れるのが自転車旅の醍醐味。お店のスタッフから、阿蘇のお勧めルートといった情報を入手してお出かけください。



レンタル819

オートバイレンタルサービスの提供店。国内4メーカーのほか、ドウカティやロイヤルエンフィールド、ハーレーといった海外メーカーの車種もあり、豊富なラインナップから好みの1台を選べます。料金は車種により異なり、8時間12,100円など。阿蘇は“ライダーの聖地”とも呼ばれる場所。美しい山並みを眺めながら、風を切って走る爽快感は格別です。



※「SDGs」とは、国連が掲げる「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称。 ※価格は2025年4月時点。全て税込み2030年までに達成すべき17のゴールと169のターゲットから成ります。